

# 平成22年度殿村遺跡発掘報告

平成23年3月19日  
松本市教育委員会

## 1 本年度はどうして発掘をしたか・どこを発掘したか

前回の発掘でわからなかったことを明らかにする

- ①石積み前の様子をさぐる——前回調査区の南側に2A1トレンチ
- ②遺跡のひろがりさぐる——長安寺の前(旧会田中校地)に2C1トレンチ

## 2 何が明らかになったか

- ①石積みの前に通路のような空間があった。通路の南側には土塁(土手)があった
- ②長安寺の前にも大きな造成跡と遺構があった

## 3 ここまでわかった遺跡の様子

- ①巨大土木工事で広く平らな地面が造られた——室町時代・東西75m×南北60m
- ②平らな地面は周囲にも広がっていた——ひな壇状に造成工事が行われたらしい
- ③拡張工事が3回以上行われた——最初は東側へ、次に南側へ、最後は北側へ
- ④地面の盛土の前には石積み造られた——石積みは見せることを目的としていた
- ⑤広大な造成面の上はいくつかに区切られた——塀や柵、溝で囲まれた空間
- ⑥空間にはいろいろな役割があった——建物跡の集まる所、炉跡の集まる所など
- ⑦生活の道具がたくさん見つかった  
——高級な茶道具(天目茶碗・茶壺・風炉・茶臼)／中国産の焼物(陶器・青磁・白磁)／地元産の皿や鍋(かわらけ・内耳鍋)／木製の道具類(箸・漆器・下駄など)
- ⑧祭祀の道具もみつかった——斎串や刀形

## 4 殿村遺跡の可能性をさぐる

- ①巨大な土木工事——広いだけでなく、造成工事の規模が大きい
- ②茶道具や文具におけるブランド志向  
——庶民の集落の跡ではない。有力な武士の館跡か?大きな寺院や神社の跡か?
- ③在地領主の館跡として見た場合のチェックポイント  
——館としての構えは整っているか?／威信財 - 特に室内を飾る大型の壺・皿はあるか?／ブランド品の品ぞろえは豊富か?／宴に使ったカワラケ(皿)はたくさんあるか?
- ④宗教施設(社寺)として見た場合のチェックポイント  
——15世紀の石積みは何を示すか?／建物配置はどうか?／遺物はどうか?／強大な中世の寺社勢力
- ⑤遺跡の可能性——長安寺や補陀寺との関係は?／会田氏館跡の伝承との関係は?

## 5 殿村遺跡の背後にあるもの～虚空蔵山麓の歴史的環境に注目する

- ①交通の要衝——古代以来の道が通過(東山道の支道)／善光寺街道と会田宿の整備
- ②会田氏と会田御厨  
——虚空蔵山城(峯ノ城・秋吉城・中の陣)・うつつ城／唐鳥屋城／会田塚・廣田寺(会田氏菩提寺)／会田御厨神明宮
- ③虚空蔵山と信仰  
——重要だがあまり知られていない／磐座の信仰・水の信仰・修験道とのかかわり／狭い谷に古代・中世寺院が集中する／戦国時代から近世に至る過程で忘れられる?

## 6 今後の調査は?

- ①殿村遺跡の発掘を継続
- ②虚空蔵山麓の歴史を総合的に調査
- ③他地域の事例調査

## 殿村遺跡の調査位置と中世の平場(造成面)範囲

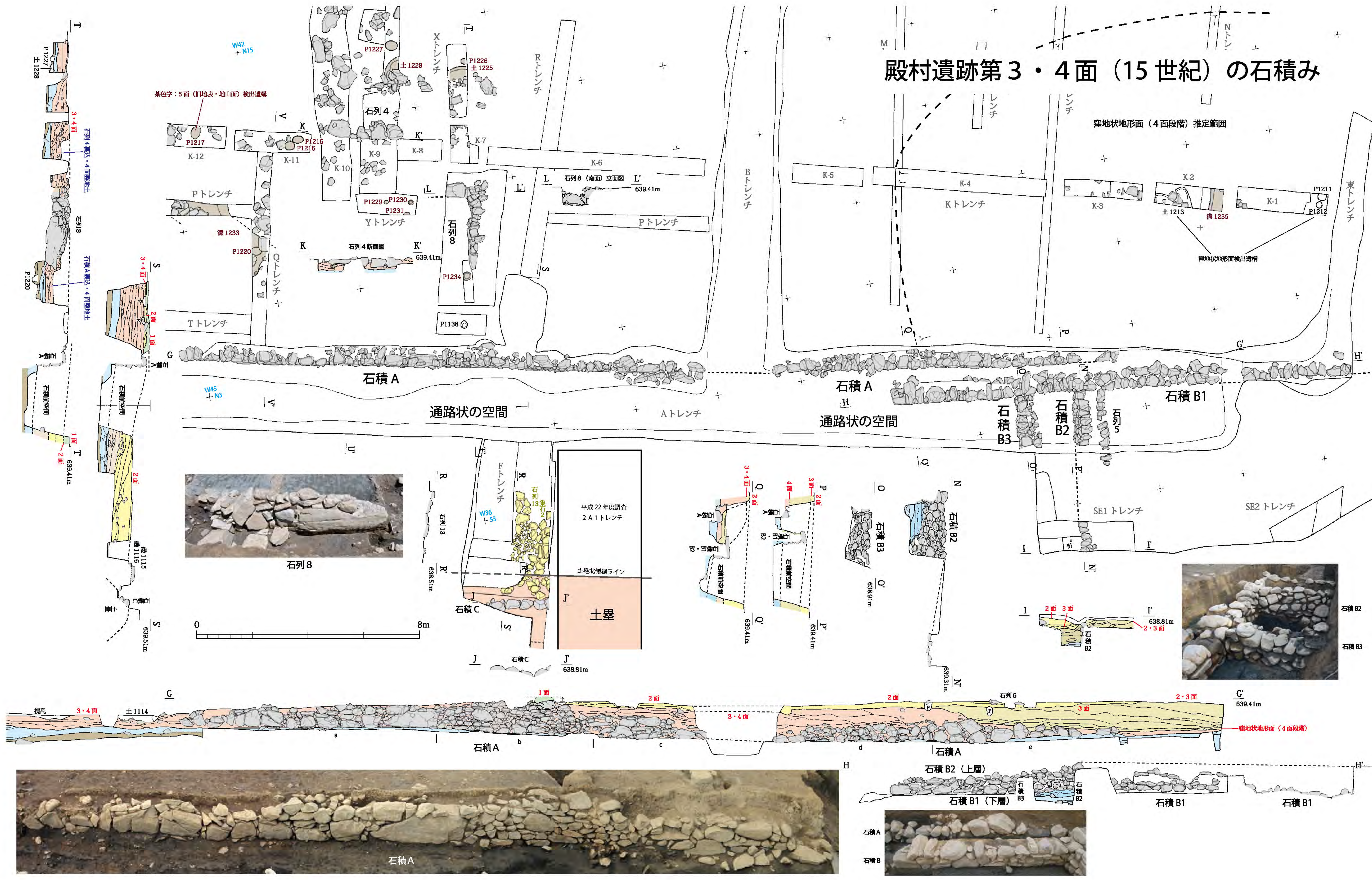






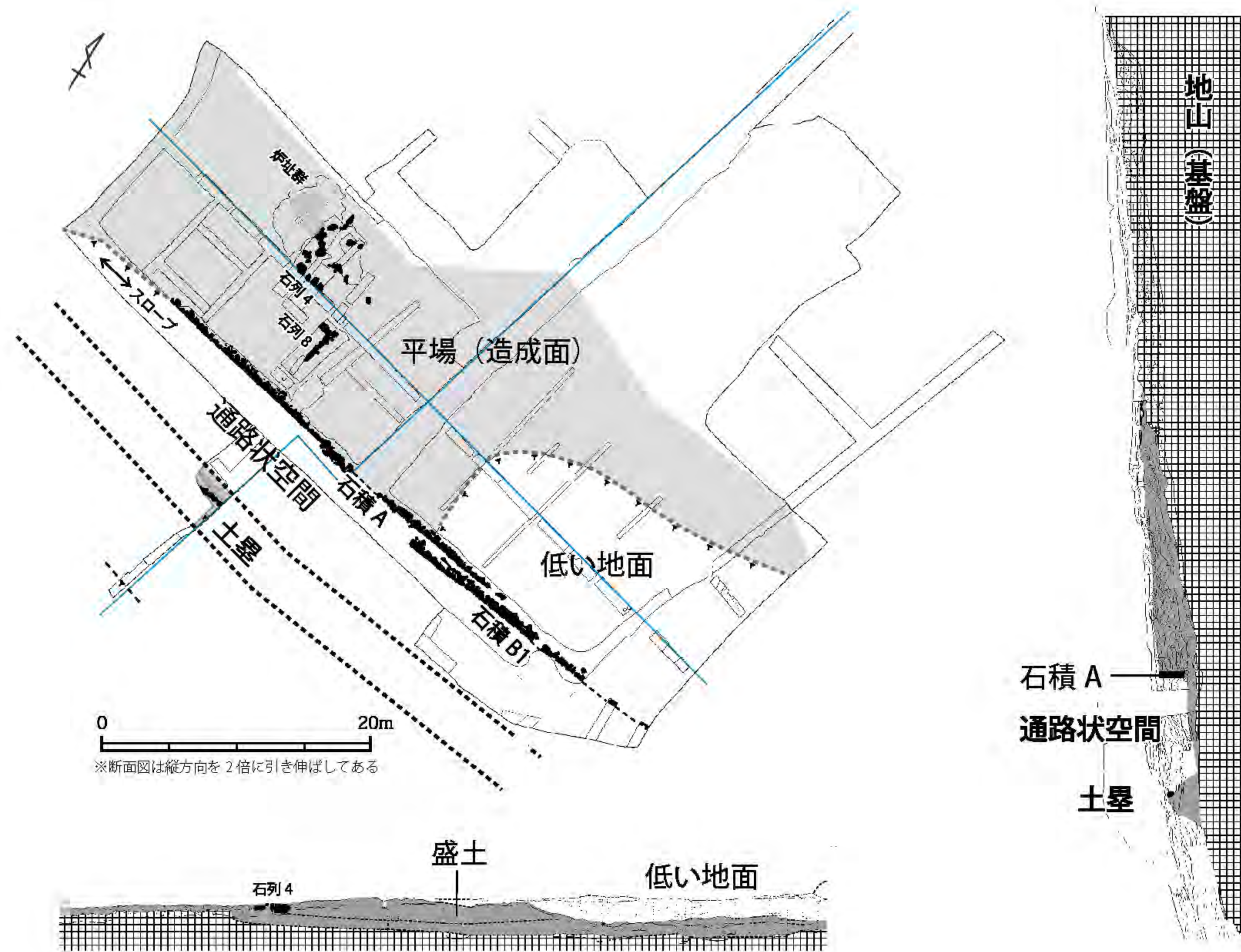


# 殿村遺跡第3・4面（15世紀）の石積み

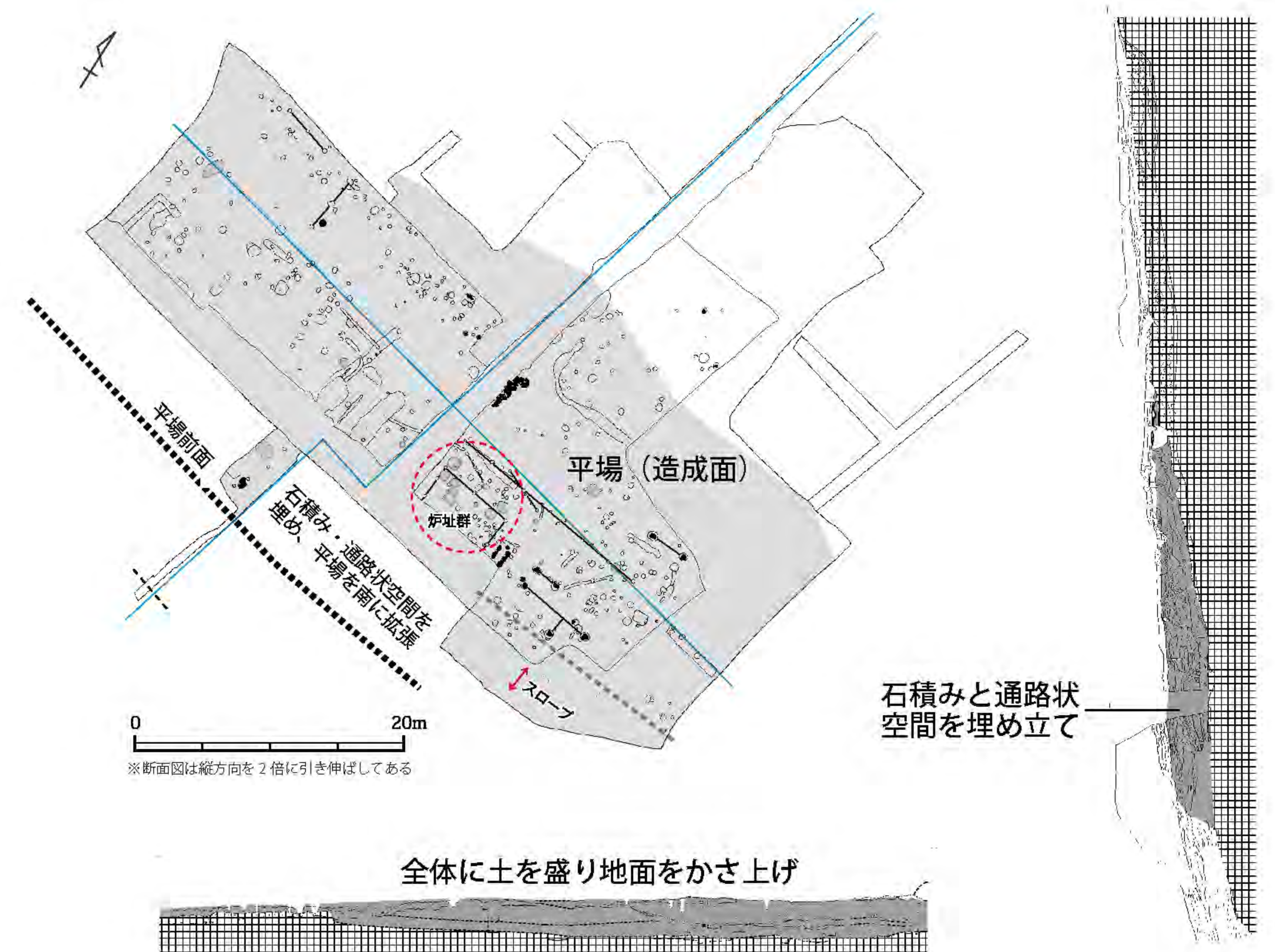




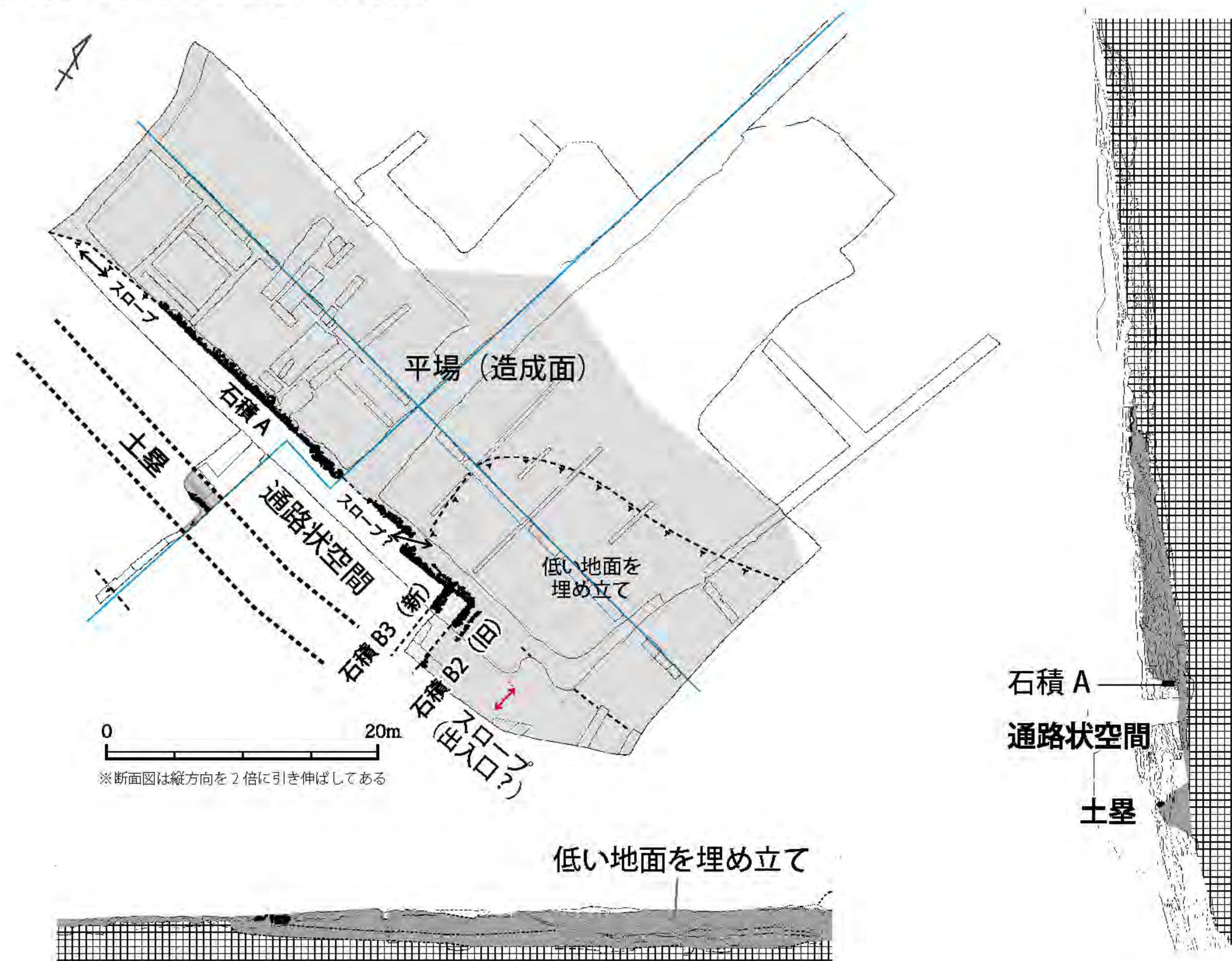
① 4面段階 (15世紀前葉～中葉)



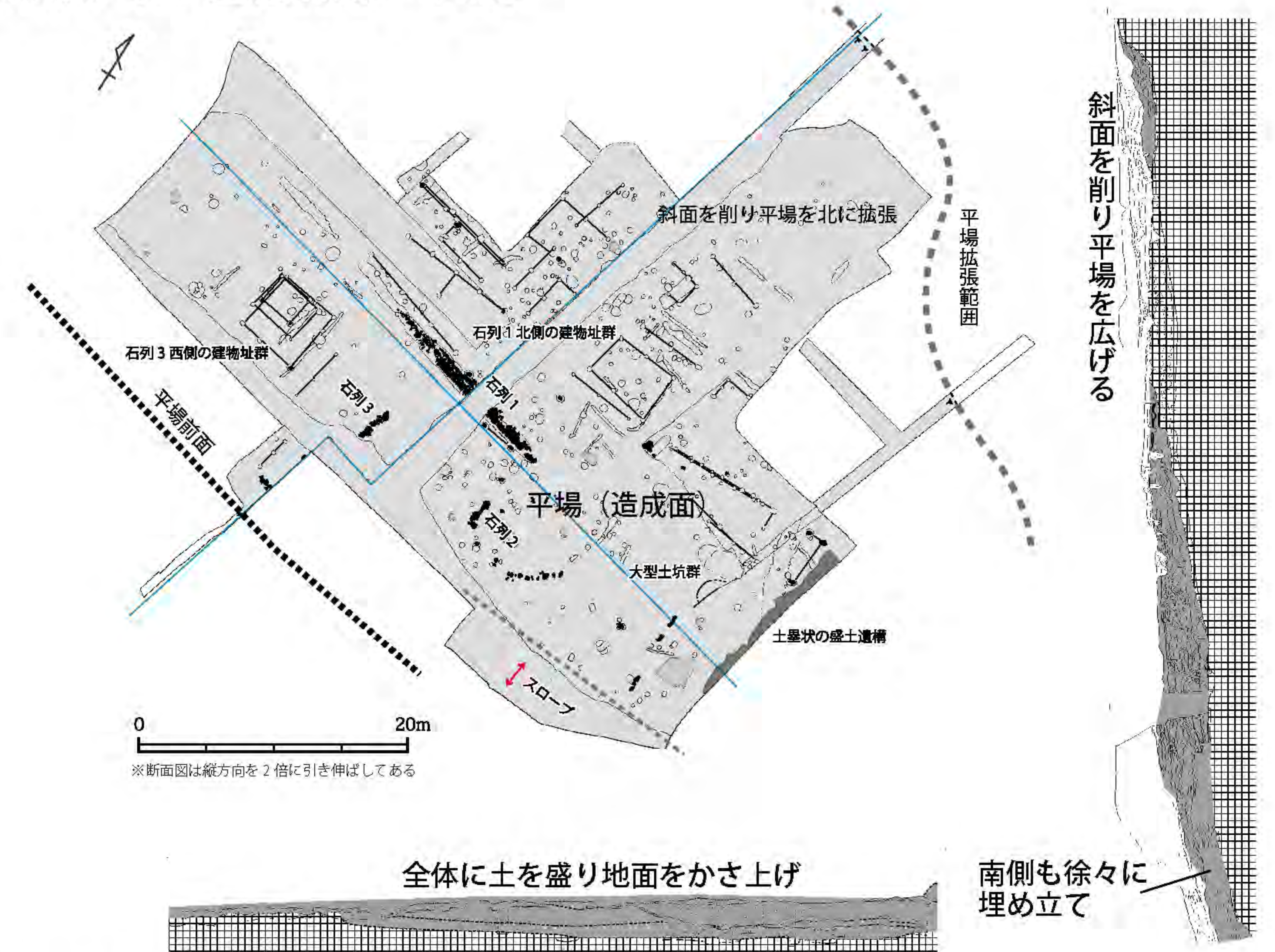
③ 2面段階 (15世紀後葉～16世紀前葉)



② 3面段階 (15世紀中葉～後葉)



④ 1面段階 (16世紀前葉～中葉)

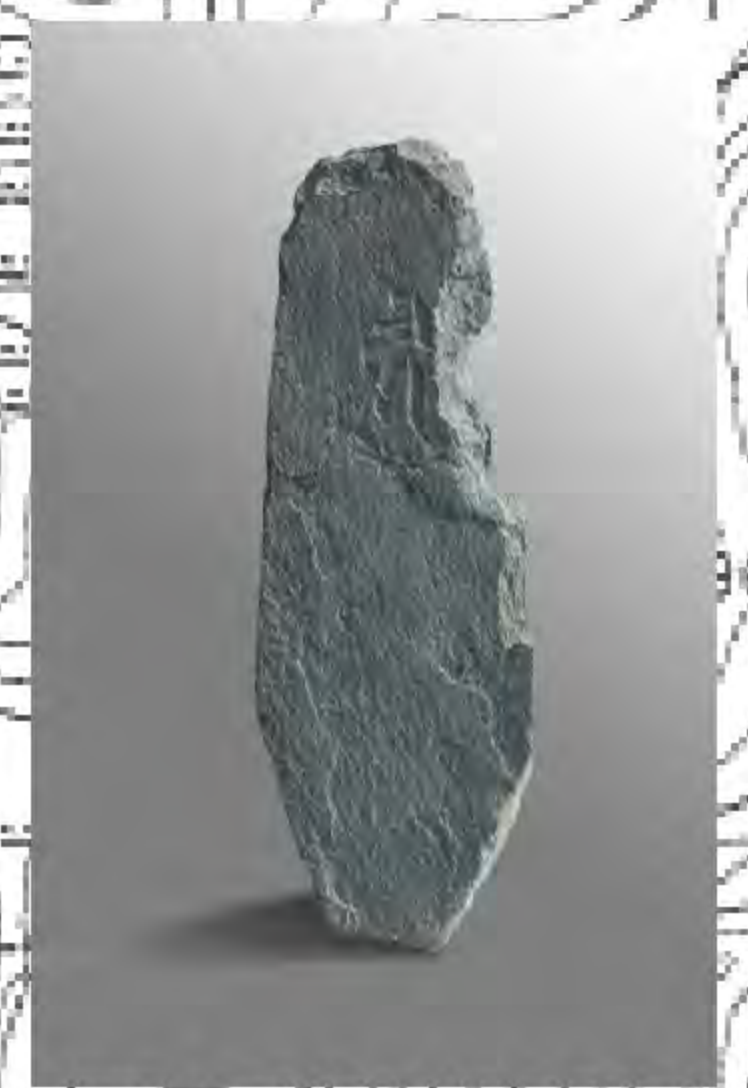


殿村遺跡 平地 (造成面) の変遷





雨戸屋城跡



にどみ堂(人埋堂)出土の板碑



芭蕉句碑



岩井堂の磨崖仏

馬頭観音



うつつ清水

●岩井堂観音  
(観音山周辺石造物群)

●峯ノ城

●岩屋神社

虚空蔵山城跡

秋吉砦

●オゲ水

中の陣城

●水の手

うつつ城跡



虚空蔵山城の石垣

松澤家長屋門



●無量寺

無量寺下尾根の旗塚  
(仮称)長居原遺跡

●芭蕉句碑



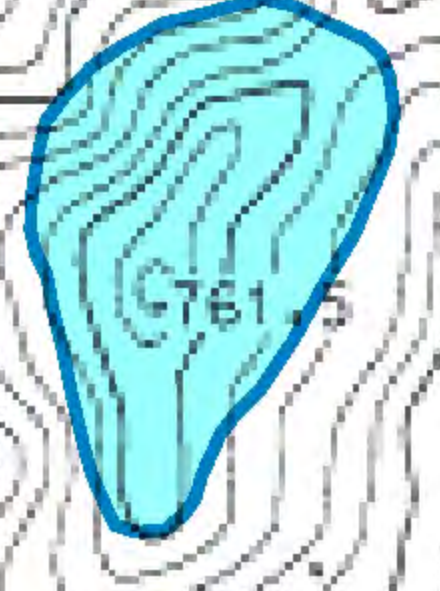
無量寺

(仮称)長居原遺跡の石積



無量寺墓地の宝篋印塔

笹城跡



三峯社上の旗塚



善光寺常夜燈

●松澤家

会田塚

●常夜燈

●廣田寺裏の旗塚



会田塚

●神明宮

●神宮寺

●人埋堂

●殿村遺跡

●長安寺

●補陀寺跡

●会田氏館跡



長安寺の田の神



長安寺の大覚禪師像



廣田寺

## 殿村遺跡と虚空蔵山麓の文化財



会田宿(立町)の町並み



殿村遺跡

会田川